万博の行き方、歩き方

誰もが楽しくお越しいただけるために

　2025年大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとしています。福祉部では、障がいの有無や、プロ・アマチュアを問わず、多様な方々によるダンス作品の発表や、障がいのあるアーティストによる現代アートの展示会、子どもや高齢者、障がい者を支える福祉分野における様々な活動を紹介するステージイベントを万博会場で開催します。

高齢者、障がい者、子ども等、様々な人が参加者としても、来場者としても、万博会場に楽しくお越しいただけることが重要であると考えています。

4月４日（金曜日）から４月６日（日曜日）のテストランの機会を活用し、会場へのアクセスや、会場内での歩き方等を職員が視察し、その結果をまとめましたので、万博来場の際のご参考としてください。

※なお、この資料は４月13日時点で福祉部職員が調べた内容を元に作成しています。

会場の状況は変更されている可能性がありますので、詳細は各種ホームページをご参照ください。

万博協会は<https://www.expo2025.or.jp/>

ユニバーサル・サポートは<https://www.expo2025.or.jp/universalinfo/>

まずは目次です。

構成は

１．万博会場全般

〇万博全体はどんな感じ？（会場図）

〇各ゾーンごとで特徴は？（各ゾーンの特徴）

〇パビリオン以外に何があるの？（パビリオン以外の催事会場）

２．万博会場へのアクセス

○車いすやベビーカーを利用する人のアクセスは？（万博会場への来場経路）

〇電車で行くには？（各来場ルートの詳細について①Osaka Metro中央線）

〇桜島駅からシャトルバスで行くには？（各来場ルートの詳細について②桜島駅シャトルバス）

〇タクシーで行くには？（各来場ルートの詳細について③タクシー）

〇夢洲障がい者用駐車場とは？（各来場ルートの詳細について④自家用車）

〇ゲートまではどれくらい？（到着場所からゲートまでの移動経路）

〇スムーズに入場するには？（入場について）

３．チケット購入、パビリオン

〇入場チケットはどんな種類がある？（入場チケットの種別）

〇チケット購入から入場まではどうしたらよいの？（チケット購入から入場の流れ）

〇電子チケット以外の予約方法は？（チケット購入について、簡単入場チケット「EXPO Quick」）

○当日券って買えるの？（当日券情報）

〇パビリオンはどう予約する？（パビリオン予約）

４．万博会場の歩き方

〇どこで食べられるの？（食事）

〇使えるキャッシュレス決済は？現金は使えるの？スマホのチャージはできるの？（キャッシュレス決済）

〇暑い時期に日陰や水分がとれる場所はどこにあるの？（暑さ対策）

〇案内所や休憩所、トイレや落ち着きたいときに使えるサービス施設は？（来場者サービス施設の配置図、詳細）

〇会場内の移動方法は？（会場内の移動）となっています。

なお、バリアフリー情報を掲載したマップであるバリアフリーマップ及び、光や音、におい等、感覚に関する情報を掲載したマップであるセンサリーマップはホームページ（<https://www.expo2025.or.jp/expo-map-index/map/>）よりダウンロードしてご利用いただけます。また、東ゲート広場案内所、西ゲート施設案内所、東ゲートアクセシビリティセンター、西ゲートアクセシビリティセンターでも無料で配布していますが、アクセシビリティセンターは会場外の施設であるため、会場に入場する前にお立ちよりください。

線や図形を盛り上げて点字を施したマップであるExpo 2025 公式触知図は、東ゲート広場案内所、西ゲート施設案内所、東ゲートアクセシビリティセンター、西ゲートアクセシビリティセンターでご利用いただけますが、配布はしていません。

１．万博会場全般

〇万博全体はどんな感じ？（会場図）

万博会場内は大屋根リングを中心に８つのゾーンで構成されています。

〇各ゾーンごとで特徴は？（各ゾーンの特徴）

大屋根リング：全長約２kmの世界最大級の木造建築です。リングの上部（スカイウォーク）からは会場全体を見渡し万博会場の魅力を楽しむことができます。リングの下部（グラウンドウォーク）は来場者のメイン動線であり、日差しや暑さから来場者を守る機能も有します。

東側

・東ゲートゾーン：東ゲートから大屋根リング外側のエリアです。大屋根リングと東通りに沿って自治体パビリオンや民間パビリオンが並んでいます。また日本館、EXPO ホール、EXPO ナショナルデーホールがゾーンの南側に並んでいます。

大屋根リング内

・コネクティングゾーン：大屋根リング内側にある静けさの森北側のエリアです。大屋根リングと西通りに沿って海外パビリオンが並んでいます。ゾーン名称は、万博のサブテーマConnecting Lives（いのちをつなぐ）に由来します。

・セービングゾーン：大屋根リング内側にある静けさの森西側のエリアです。大屋根リングといくつかの通りに沿って海外パビリオンが並んでいます。ゾーン名称は、万博のサブテーマSaving Lives（いのちを救う）に由来します。

・シグネチャーゾーン：万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」とは、そもそも何なのか？8人のプロデューサーがそれぞれの視点でそのテーマを探究・表現する

のが「シグネチャーパビリオン」です。8つのパビリオンを回遊するほどに「いのち」への理解が深まり、未来を輝かせるヒントを得ることができます。

・エンパワーリングゾーン：大屋根リング内側にある静けさの森東側のエリアです。大屋根リングといくつかの通りに沿って海外パビリオンが並んでいます。ゾーン名称は、万博の

サブテーマEmpowering Lives（いのちに力を与える）に由来します。

・静けさの森ゾーン：大屋根リング内側の中央部分です。中心にあえてパビリオンを置かず多様な木々の集まった森にし、来場者の憩いの空間としています。森の中央には水盤があります。

西側

・西ゲートゾーン：西ゲートから大屋根リング外側のエリアです。大屋根リングと西通りに沿って民間パビリオンが並んでいます。ゾーンの南側には展示イベントを開催するEXPO メッセがあります。

・フューチャーライフゾーン：会場の西端にあるゾーンです。空飛ぶクルマの離着陸場であるEXPO Vertiportや屋外型の展示イベント会場であるEXPO アリーナがあります。

〇パビリオン以外に何があるの？（パビリオン以外の催事会場）

万博会場内には、海外パビリオン、日本の民間パビリオン、日本館（日本政府館）や大阪ヘルスケアパビリオン（大阪府市）の他にも様々な催事会場があります。収容人数が約1,900人で音楽、演劇、芸能、未来型エンターテインメント等の劇場催事を実施する屋内のイベント会場「EXPOホール『シャインハット』」、収容人数が最大16,000人で大型ライブイベント等を実施する屋外催事場「EXPOアリーナ『Matsuri』」や、展示面積が約4,000㎡の展示会場「EXPOメッセ『WASSE』」、さらに、予約なしで利用できる約50㎡のポップアップステージは会場内に５つあり、様々なイベントが日替わりで実施されます。ほかにも、２つのギャラリーや「水」と「空気」のスペクタルショー「アオと夜と虹」のパレード会場であるウォータープラザなどがあります。

２．万博会場へのアクセス

○車いすやベビーカーを利用する人のアクセスは？（万博会場への来場経路）

万博会場への来場手段はOsaka Metro中央線、桜島駅シャトルバス、UDタクシー・福祉タクシー、自家用車があります。

〇電車で行くには？（各来場ルートの詳細について①Osaka Metro中央線）

〇桜島駅からシャトルバスで行くには？（各来場ルートの詳細について②桜島駅シャトルバス）

〇タクシーで行くには？（各来場ルートの詳細について③タクシー）

〇夢洲障がい者用駐車場とは？（各来場ルートの詳細について④自家用車）

〇ゲートまではどれくらい？（到着場所からゲートまでの移動経路）

Osaka Metro中央線（夢洲駅）又は自家用車（夢洲障がい者用駐車場）で来場される場合は「東ゲート」から、桜島駅シャトルバスやUDタクシー（ユニバーサルデザインタクシー）等で来場される場合は「西ゲート」からの入場となります。

これら４つのアクセスのルート詳細や到着場所からゲートまでの移動経路については、ホームページ（<https://www.expo2025.or.jp/universalinfo/universalaccess/>）をご確認ください。

また、身体障がい者・車いすをご利用の方など移動に配慮を要する方は、自家用車で来場する際に、万博会場（東エントランス広場）に隣接する、夢洲障がい者用駐車場をご利用いただけますが、自家用車を利用される方は、前日までに事前予約が必要です。

予約サイト：<https://parking-reserve.expo2025.or.jp/>

〇スムーズに入場するには？（入場について）

●手荷物検査の実施について

入場する前に、ゲートでかばんの中や、飲料の検査が行われます。飲み物はあらかじめ手荷物から出してお並びください。

会場の中へ持って入ることができない物があります。来場の前に持込禁止物のリストをご確認ください。

持込禁止物・禁止行為に関する来場者向け規約：<https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/themes/expo2025orjp_2022/assets/pdf/tickets-index/prohibition_ja.pdf>

●チケットの QR コードについて

チケットの QR コード をスクリーンショットした画像や事前に印刷した紙をご準備いただくと、よりスムーズにご入場いただけます。

●多目的レーンについて

入場ゲートには、障がいのある方、車いすの方が通行しやすいよう「優先入場口」を設けております。付き添いの方は、同時入場の場合に限り多目的レーンをご利用いただけます。

●アクセシビリティセンターについて

ベビーカーや車いすなどの貸出を行っているアクセシビリティセンター（東・西）はゲートの外にあります。

●再入場について

会場を出てもう一度入る場合は、入退場ゲートの「多目的レーン」にいるスタッフにお声がけいただき、指示に従ってください。

再入場時にも原則、手荷物検査が実施されます。

●暑さ対策

会場内には日除けのテント・パラソルや給水スポット（給水器や水飲み場）などを設置しておりますが、夏場は高温・多湿が予想されます。

また、入場時や一部のパビリオンでは待ち時間が発生する可能性があるため、帽子や日傘のほか、マイボトル（ペットボトル）などを持参して水分補給をするなど、熱中症対策をお願いいたします。ただし、瓶、缶類は持ち込み不可です。椅子の持ち込みも可能ですが、X線検査装置で検査可能なサイズ（幅）600mm×（高さ）400mm×（奥行）900mmに収まるサイズを超えるものは持込禁止です。

会場内には、ペットボトルや小型の水筒の給水機が設けられており、無料で給水が可能です。

３．チケット購入、パビリオン

〇入場チケットはどんな種類がある？（入場チケットの種別）

会期中販売チケットは、会期中いつでも1回入場可な一日券、土日祝を除く平日1回入場可な平日券、会期中いつでも17時以降1回入場可な夜間券などがあります。また、障がい者手帳等をお持ちの方及びその同伴者が購入可能で会期中いつでも1回入場可な特別割引券等さまざまな種類があります。ただし、特別割引券でご入場の場合、障がい者手帳等をご提示頂くことがございますので、ご持参のうえご来場下さい。

〇チケット購入から入場まではどうしたらよいの？（チケット購入から入場の流れ）

スマホ、携帯電話やタブレット等をお持ちの方は、まず、万博IDを登録しましょう！

※「万博ID」は来場日時予約、パビリオンなど観覧予約など、大阪・関西万博で提供されるさまざまなサービスにログインする際に利用するIDで、登録にはメールアドレスなどが必要です。

※来場者本人に代わって、家族や友人などが「万博ID」を登録し、チケットの購入、来場日時やパビリオン観覧の予約をすることができます。代理で購入・予約した人と一緒に来場しなくても、チケットに記載されたQRコードを印刷した紙を持っていれば、会場への入場、事前予約したパビリオンなどの観覧、パビリオンの当日登録（予約）が可能です。

万博IDの作成はこちらのホームページ（<https://www.expo2025.or.jp/tickets-index/information/>）をご確認ください。

〇電子チケット以外の予約方法は？（チケット購入について、スマホ等をお持ちでない方、簡単入場チケット「EXPO Quick」など）

紙チケット、引換券は、旅行会社・コンビニ（セブン・イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ）で販売しています。

また、スマートフォンやパソコンで「EXPO Quick」（URL: <https://lp.expo2025.pia.jp/>）にアクセスし、来場日・入場時間・購入枚数を選択して決済いただくと、決済後に表示されるＱＲコードで万博会場へ入場することが可能になります。万博IDの登録は不要です。

・簡単入場チケットでは購入後の来場日時、ゲートの変更はできません。予定が決まってからご購入ください。

・簡単入場チケットではパビリオン・イベントの事前予約を行うことができません。予約なしで楽しめるパビリオン・イベントも多数ありますが、予約が必要なパビリオン・イベントを観覧する場合は、入場後に案内所にて当日登録（予約）をして観覧いただけます。

○当日券って買えるの？（当日券情報）

来場当日に万博会場（夢洲）でのチケット購入をご希望の皆様に、来場日時予約の枠に空きがある場合には、東ゲート前と西ゲート前にあるチケット引換所にて対面にてQRコード付チケット（紙）を販売します。

キャッシュレス決済となります。

・翌日の当日券販売の有無やイベント情報など万博の最新情報をワンストップでお知らせするため、「明日の万博情報」 （<https://www.expo-osaka2025.com/event-tomorrow>）のウェブページを開設しています。

〇パビリオンはどう予約する？（パビリオン予約）

万博IDを作成し、来場日時を決定したあと、来場日に回るパビリオンを予約することができます。来場日時予約をした日の3か月前から2か月前の前日まで受け付ける「2か月前抽選」、来場日時予約をした日の1か月前から8日前まで受け付ける「7日前抽選」、来場日時予約をした日の３日前から前日の午前9時まで受け付ける「空き枠先着予約」、さらに会場に入場して10分後から受け付ける「当日登録」があります。

「当日登録」については、万博IDを作成していない場合でも申し込むことができます。万博会場入場後に、会場内に設置している当日登録端末を使用します。なお、パビリオン・イベント当日登録センターには、登録用の端末が16台設置され、アテンダントも常駐しているため、操作に不安がある方にはおすすめです。

また、予約無しで楽しめるパビリオン（<https://www.expo2025.or.jp/news/daily/>）もあります。

４．万博会場の歩き方

〇どこで食べられるの？（食事）

（１）会場内の営業施設、自動販売機等の飲食はキャッシュレス

・会場内には食事を提供するレストランやコンビニ、キッチンカー等が出店

・会場内施設の決済はキャッシュレス対応（スマートフォンでの電子決済、交通系ICカード、プリペイドカード等、約60種類の決済ブランドが使えます）

（２）飲食物の持ち込み

・会場への弁当・水筒・ペットボトルの持ち込みは可能

・リング下や芝生広場などにおいて、自由に食事をとっていただくことが可能

・会場内営業施設には、大人数の団体のご利用にも対応可能なフードコート4か所と100から200席規模の飲食店舗を複数配置

飲食店舗一覧：<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20250319-02/>

〇使えるキャッシュレス決済は？現金は使えるの？スマホの充電はできるの？（キャッシュレス決済）

会場内では、各種プリペイド型電子マネーへの現金チャージが可能な専用チャージ機を60台以上設置しています。

クレジットカードや電子決済アプリ等お持ちでない方でも、会場内では、プリペイド型電子マネーカード販売機も設置。カードを現金で購入し、会場内で買い物ができます。

1,000円で購入して、手数料300円を引いた残り700円が使用可能です。購入後残額がなくなれば、都度現金チャージして、続けて買い物が可能です。

また、会場内には充電器のレンタルやモバイルバッテリーの販売がありますが、スマートフォンの利用が長時間に及ぶ場合に備えて、事前の充電や、モバイルバッテリーをご持参いただくことをおすすめします。

〇暑い時期に日陰や水分がとれる場所はどこにあるの？（暑さ対策）

会場内には日除けテント、パラソルやベンチ等があり、給水スポットは32箇所、さらに入場ゲート外を含め万博会場周辺で来場者が利用できる自販機は6社で計252台設置されています。

給水スポット：<https://www.osg-nandemonet.co.jp/expo2025/index.html>

〇案内所や休憩所、トイレや落ち着きたいときに使えるサービス施設は？（来場者サービス施設の配置図、詳細）

団体休憩所以外では、会場内には小規模の休憩所が点在し、大屋根リング下や園路に約14,000席の休憩コーナーがあります。

来場者向けトイレは会場内に40ヶ所、会場外に３ヶ所あります。

車いすや歩行補助器具等の貸出や、筆談や手話による対応など様々な配慮を必要とする方への総合サービス拠点であるアクセシビリティセンターは東西のゲート外に１つずつ設置されています。アクセシビリティセンターでは以下のサービスを受けることができます。

●車いす  
　スムーズな移動がしにくい人が快適に観覧できるよう、自走式車いすの無料貸出サービスを行っています。  
・利用方法：受付機にて発券後、スタッフへお問い合わせください。  
・台数：約300台  
・仕様：(使用時）幅540mm以上×奥行970mm以上×高さ890mm以上（折りたたみ時)幅220mm以上×奥行970mm以上×高さ650mm以上  
・注意事項：利用範囲は会場内のみとなり、お一人様一台までのご利用となります。

●歩行補助器具  
　スムーズな移動がしにくい人が快適に観覧できるよう、歩行補助器具の無料貸出サービスを行っています。  
・利用方法：受付機にて発券後、スタッフへお問合せください。  
・台数：140台  
・仕様：（使用時）幅480×奥行650×高さ740から965㎜（折りたたみ時）幅260×奥行740㎜  
・注意事項：利用範囲は会場内のみとなり、お一人様一台までのご利用となります。

●その他  
　杖や高齢者用イヤホン、車いす用レインウェア、補助犬用レインウェア等の無料貸出サービスを行っていますので、スタッフまでお問い合わせください。

小さなお子様連れの来場者に向けたサービス拠点である迷子／ベビーセンターでは以下のサービスを受けることができます。

●迷子対応

お子様が迷子になった場合は、すぐにお近くのスタッフ・案内所にご相談ください。迷子／ベビーセンターでは、保護された迷子のお子様を一時的にお預かりいたします。

その他、迷子の保護者をお呼び出しする際のまいごリストバンドも迷子／ベビーセンターで配布しています。

●ベビーセンター

授乳室、おむつ交換所、子供用トイレなどがございます。調乳用のお湯が出る設備などはスタッフにお問い合わせください。

●貸出サービス（ベビーカー）

来場される乳幼児及びその保護者の方々が快適に移動できるよう、ベビーカーの無料貸出サービスを行っています。

・台数：800台

・対象年齢：生後1か月から4歳（48か月）まで

・体重：18kg以下

・仕様：（使用時）幅525×奥行756×高さ1039㎜（折りたたみ時）幅525×奥行419×高さ984㎜

・注意事項：利用範囲は会場内のみとなり、お一人様一台までのご利用となります

来場時に気持ちが不安になったり、パニックになってしまった時に落ち着けるスペースであるカームダウン／クールダウンルームも会場内に設置されています。各種施設の詳細はホームページ（<https://www.expo2025.or.jp/universalinfo/facilities/>）をご確認ください。

〇会場内の移動方法は？（会場内の移動）

会場内の移動方法には「会場内来場者向けパーソナルモビリティ」があります。

・台数：150台

・走行場所：一般来場者エリア（静けさの森等一部除く）

・対象者：高齢者等、長距離の歩行が困難な方（利用開始から21時まで）、一般来場者（最長4時間）

※最終貸出は20時、返却は随時可

・料金：無料

・予約システム：無し。当日貸出対応（貸出には顔写真付きの身分証明書が必要です）

・貸出場所：西ゲートまたは東ゲートの貸出所

※会場内の各ゾーンに駐機場が点在している

また、万博会場内・外周バス「e Mover」を用いて、会場内を移動することも可能です。

・料金：1回券：400円、1日乗り放題券：1,000円

利用料金は大人・子ども共通。障がい者手帳をお持ちの方は、乗り場で手帳等を提示することで無料で乗車できます

（同伴者は通常料金）。車いすや電動車いす、ベビーカーで乗車可能です